



（機密漏洩事件）
五日、日本の万人のアジア人の日本国民の期間の写真を展示しました。
ビデオ「認罪・中国戦犯管理所の六年」の上映を観た参加者は「当時の中国政府の方針や、現場で日本

中国側の人道的扱いで日本人戦犯が鬼から人間へ

平和のための戦争展が八月二人戦犯の世話をしていた中
十日から二二日まで梅田・茶屋町・日中文化センターで、写真
パネルや戦時品の展示、ビデオ「認罪・中国戦犯管理所の六年」
の上映などの内容で開催しました。方々の本当の気持ちが中国
の取材でよく理解できた」

国側の人道的な扱いを受けられた」と本人戦犯が鬼から人間へと
られて行く過程がよく描かれていました。この感想を述べら
た。

日中友好新聞

府連通信

2009年8月号
日本中国友好協会大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
茶屋町10-6
阪急北ビル4階
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail: jcfa@j
t8.so-net.ne.jp
ホームページ
<http://www005.u>
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/

ビデオ「認罪・中国戦犯管理所の六年」の上映
中国側の人道的扱いで日本人戦犯が鬼から人間へ
平和のための戦争展が八月二人戦犯の世話をしていた中国の
十日から二二日まで梅田・茶屋町・日中文化センターで、写真
パネルや戦時品の展示、ビデオ「認罪・中国戦犯管理所の六年」
の上映などの内容で開催しました。本人戦犯が鬼から人間へと変え
られた。た。た。
書籍を見学されておられました。
また、各地域で戦争展を開催されている方も見学に来られま
した。これからも侵略戦争による加害の事実を若い戦争を体験
させていく世代にも伝えていくために、日中友好協会の不再戦・
平和の活動として「平和のための戦争展」を続けていきます。

中国語講座が十月から開講され、庶民レベルの日中友好を目指す。

一衣帶水の隣国で、文化的に
も永い歴史とともに深い繋がり
をもつ中国は、今や超大国にな
りつつ躍進を続けていますが、
中国をめぐっては（十）（二）
いろいろな情報が発信されてい
て、そのつど両国民の対中・対
日感情が大きく左右されていま
す。政治の流れや経済状況の変
化によって、両国の庶民・民衆
は苦しくもなり、豊かにもなる
ことに思いを致し、互いに双方
の観光客が大ぜい来日され、鉄
道や繁華街では中国語が飛び交
っています。このようなチャイナ
タウンに二言、三言でも中国語で
話しかけて上げたらどうでしょ
う。言葉の上手、下手はともかく
く、異国の地で母国語に接した
相手には親しみと好印象を与え
るために陥ることのないように努力
しなければなりません。

(中国語講師・仲根欣之助)

第89期中国語講座10月5日開講

中国人との日常会話ができますことをめざしています。

会員・学生割引があります。

(週一回・二時間・6ヶ月20回受講)

受講料・44000円 二科目受講79000円

入学金・18000円

*授業の見学は無料で二科目までならOKです。

*プライベートレッスンも随時受付中です。

A man in a white shirt stands behind a podium, speaking into a microphone. Above him is a decorative banner with the text "和のめの 戦争展 2009" and "まちごとを平和のバトンをうつごう".

りえ講習会を日中友好協会堺支部が実行委員会の一員として担当しました。

中国語 無料 入門レッスン さあ！一緒に始めよう！

これから中国語を学んでみたい人のための
入門レッスンです。いちど、挑戦してみませんか。

9月29日(火) 10:00~11:30

18 : 30 ~ 20 : 00

10月3日(土) 10:00~11:30

会場：日中友好協会内（日中文化センター）

郷土の先輩斎藤隆夫を紹介
演説力を武器に軍部の政治介入を批判
卓越した弁舌・

卓越した弁舌・演説力を武器に満州事変後の私の郷土である出石から輩出された代議士に、斎藤隆夫という人物がいました。協会の不再戦活動の一環として紹介します。

争の処理の仕方に
間半を費やして論
が斎藤隆夫でした。

ついて、一時 しかし、ことはこれだけで終
陣をはつたの わらず、民政党を離党し、日本
憲政史上初となる、議員除名と

最近アメリカのオバマ大統領は、世界で最初に原爆を使用した国であり責任を感じていると聞いて友好的な関係を築くことで、核兵器廃絶を前進させたのです。中国もアメリカが核ないと演説を行ないました。歓迎すべきことです。

せん一国では何も出来ないので、そのためには日常的に話合いで友好的な関係を築くこと、廢絶を言い出したこの機会を利用しながら、率先して無駄な軍事費を國民の役に立つ民衆に還すべきことです。

アメリカも日本もそれに中国の無体な宣事費二億の金が有る

事費を国田の役に立て、田需は据り向付らぬ所が心要ないをば。

に於いて一発の銃声が響き、結果としてそれが日中全面戦争となり、太平洋戦争となりました。どこかでこれを止める勢力は、政策全体への批判でした。

なかつたのかと思うのは、時代背景を知らない人間にしか言えないと、斎藤の演説は拍手喝さいで終りましたが、軍部のみならず、議会内でも、各党派が斎藤を非難、憂慮した小山松寿衆院議長と斎藤が所属する民政党幹部は、

かえて います。

1936年には 肅軍演説・軍部革正（肅軍）を軍部に強く要請すると同時に議会軽視の傾きのあつた軍部への批判演説を行なつていました。郷土の出石城跡には顕彰碑が建てられ、生家の近くの記念館「静思堂」にはそ

も無駄な軍事費は使ひ金がある。向ける。沙燭が必要だときてす
ならそれぞれ国民の安心できる政策を追行してほしいものです。現実にはお互いの大國を攻撃できるのか？軍事に物を言わせることは有つても自国のためには何の利益も無い事は理明のことです。平等で格差の少ない社会をめざすことが今求められていますが、労働者を犠牲にした強欲な金権主義が資本主義なら、限りなく平等で格差の少ない社会が世界の国々から非難的になることは、格差の少ない社会をめざす「共産主義者」と言われても一向に

三年後の1940年の帝国議
院に於いて、反軍演説・日中戦
争の削除を要求、斎藤も議長

の記録等が置いてあります。

でしょう。

構わないと思うのですが。

盧溝橋事件七二周年行事
変化の時代が始まった
「活憲」そ平和の力—
東京で講演会開く

次世界大戦後の西ヨーロッパは復興をめざし戦争をなくしたのに伴走してムダ自由化の一途

い、
わるのかなど具体的な事実で精
力的に語りました。

(續集後記) 昨週返信8月号は
日中友好協会の不再戦・平和目
間特集となりました。

七月十五日盧溝橋事件七二周年行事「過去を見つめ未来を考える夕べ」が新宿でありました。代が始まった」のタイトルで、国際平和友好団体の日中友好協会、日朝協会、平和委員会、A L A連帶委員会の全国・東京の8組織の共催で、昨年も参加しました。

ベルリンの壁から二〇年として話を切り出した伊藤さんは、自由を求めたチエコの民主化を

次世界大戦後の西ヨーロッパの復興をめざし戦争をなくしたいと奔走した仏外相ロベル・シューマンの話。そして暮らしを守るためにベネズエラでは赤ちゃんを連れたお母さんが憲法の本を買ふう話。また、アメリカから自立する中南米の政治変革。9・11後のアメリカ議会でイラク戦争にただ一人反対したバーバラ・リー議員の闘いなど憲法を活かしている豊富な事例を語つてくれました。日本はどうすれば変

以前に伊藤さんの著した「活憲の時代」を読んでいましたので非常にわかりやすかったです。終了时刻がオーバーし、急いで水道橋に戻り、太極拳の仲間と合流し夕食を共にしました。

さあ、総選挙。コスタリカにならって、「軍事費削つて、暮らし・福祉予算の大幅増額」を推進する政治の実現を。

悲惨な戦争を繰り返さないために、全国各地で七・七宣伝運動が繰り広げられ、戦争展も七月から全国各地で開催されています。

この夏は戦争と平和を考える出版や、テレビ報道が相次ぎました。オバマ大統領のプラハ演説以来、核廃絶の世界的な世論も大きき広がつてきています。平和の力がもつと大きく広がるような行動を開拓しましよう。

軍事費削減と格差社会の改善は、死の商人追放・「軍需産業」の転換

に一任し、議長は職権で演説の後半部分すべてを速記録から削除したのです。

軍事費削減と格差社会の改善は死の商人追放・「軍需産業」の転換で実現できる